

2026年4月30日 現在

ファンドの概況

基準価額※(円)	5,446
純資産総額(億円)	35.6
設定日	2004年3月19日
決算日	毎月12日 (休業日の場合は翌営業日)
信託期間	無期限

・基準価額は信託報酬控除後です。
・参考指数は、TCWファンズ-TCWハイ・イールド・ボンド・ファンドのベンチマーク(ブルームバーグ・USコーポレート・ハイ・イールド・インデックス2%イシューアーク・キャップ※¹) (ファンド入替え前までは、ICE BofA US High Yield Index (BB)※² × 70% + 同インデックス (B)※² × 30%)と Amundi Funds ユーロ・ハイ・イールド・ボンドのベンチマーク(ICE BofA European Currency High Yield Constrained Index (BB-B)※²)を1対1の割合で算出した合成インデックスです。
※¹「Bloomberg®」およびブルームバーグ・USコーポレート・ハイ・イールド・インデックス2%イシューアーク・キャップは、Bloomberg Finance L.P.および、同インデックスの管理者であるBloomberg Index Services Limited (以下「BISL」)をはじめとする関連会社(以下、総称して「ブルームバーグ」)のサービスマークであり、アムンディ・アセットマネジメントによる特定の目的での使用のために使用許諾されています。ブルームバーグはアムンディ・アセットマネジメントとは提携しておらず、また、アムンディ・米国・ユーロ高利回り債ファンドを承認、支持、レビュー、推奨するものではありません。ブルームバーグは、アムンディ・米国・ユーロ高利回り債ファンドに関連するいかなるデータもしくは情報の適時性、正確性、または完全性についても保証しません。
※²ここで述べられているインデックス・データは、ICE Data Indices, LLC、その関係会社(「ICE Data」)及び/又はその第三者サプライヤーの財産であり、アムンディ・ジャパン株式会社による使用のためにライセンスされています。ICE Data及びその第三者サプライヤーは、その使用に関して一切の責任を負いません。免責条項の全文については、<https://www.amundi.co.jp/product/view/JP90C0000DV1>をご参照ください。

ファンドの内訳

内訳	比率
TCWファンズ-TCWハイ・イールド・ボンド・ファンド	50.28%
Amundi Funds ユーロ・ハイ・イールド・ボンド	48.07%
現金等※	1.65%
合計	100.00%

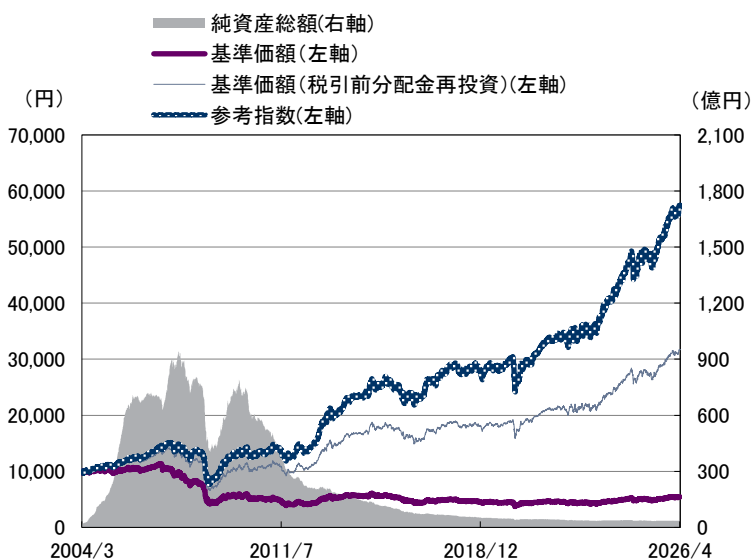
※現金等には未払諸費用等を含みます。

ファンドの概要

平均格付	BB-
平均最終利回り(%)	6.15
平均直接利回り(%)	5.68
修正デュレーション(年)	3.03

・平均格付とは、基準日時点でファンドが保有している有価証券の信用格付を加重平均したものであり、ファンドの信用格付ではありません。

設定来の基準価額の推移



・基準価額(税引前分配金再投資)は、税引前分配金を分配時に再投資したものと計算しています。基準価額は信託報酬控除後です。信託報酬については、後記の「ファンドの費用」をご覧ください。
・上記は過去の実績であり、将来を示唆または保証するものではありません。

騰落率

	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
ファンド	2.96%	3.19%	4.94%	18.51%	44.75%	217.23%
参考指数	3.39%	3.50%	5.95%	21.53%	56.90%	474.55%

・騰落率は、税引前分配金を分配時に再投資したものと計算しています。ファンドの騰落率であり、実際の投資家利回りとは異なります。
・上記は過去の実績であり、将来を示唆または保証するものではありません。

《ご参考》為替レートの騰落率

	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
米ドル/円	0.32%	4.38%	4.08%	12.50%	19.58%	50.09%
ユーロ/円	2.16%	2.19%	5.08%	15.54%	26.57%	41.46%

・為替レートの騰落率は、対顧客直物電信売買相場の仲値におけるものです。

2026年4月30日 現在

投資先ファンド「TCWファンズ-TCWハイ・イールド・ボンド・ファンド」の運用状況(純資産総額比)

組入上位5銘柄

	銘柄名	投資国	クーポン	償還日(含むコール日)	比率
1	GRAPHIC PACKAGING INTERN	アメリカ	3.500%	2028/3/15	1.67%
2	CITIGROUP INC	アメリカ	6.625%	2031/2/15	1.56%
3	CCO HLDGS LLC/CAP CORP	アメリカ	5.375%	2029/6/1	1.36%
4	MOLINA HEALTHCARE INC	アメリカ	3.875%	2032/5/15	1.29%
5	PNC FINANCIAL SERVICES	アメリカ	3.400%	2026/9/15	1.26%
上位5銘柄合計:					7.14%

ポートフォリオ概況

平均格付	BB
平均最終利回り(%)	6.65
平均直接利回り(%)	6.17
修正デュレーション(年)	3.25
組入全銘柄数	174

・平均格付とは、基準日時点でファンドが保有している有価証券の信用格付を加重平均したものであり、ファンドの信用格付ではありません。

組入格付別比率

格付	比率
AAA	5.87%
AA+	-
AA	-
AA-	-
A+	0.35%
A	0.85%
A-	0.65%
BBB+	2.74%
BBB	3.82%
BBB-	7.43%
BB+	20.89%

格付	比率
BB	19.53%
BB-	10.76%
B+	9.19%
B	10.30%
B-	2.81%
CCC+	3.70%
CCC	0.82%
CCC-	0.13%
CC+以下 および無格付	0.17%
合計	100.00%

・格付については、S&PあるいはMoody'sの上位の格付を採用しています。S&PおよびMoody'sの格付が付与されていない場合はフィッチの格付を採用しています。また、現金等については「AAA」としています。なお、S&Pの表記方法に合わせて表示しています。

投資先ファンド「Amundi Funds ユーロ・ハイ・イールド・ボンド」の運用状況(純資産総額比)

組入上位5銘柄

	銘柄名	クーポン	償還日(含むコール日)	国	比率
1	AM EURO LIQUIDITY S-T RESP - Z (C) ※	-	-	その他 ※	1.41%
2	AMUNDI EURO LIQUIDITY SELECT - Z (C) ※	-	-	その他 ※	1.15%
3	ZFFNGR 3.75% 09/28 EMTN	3.750%	2028/9/21	ドイツ	1.04%
4	DUFNSW 3.375% 04/28	3.375%	2028/4/15	スイス	1.02%
5	AMUNDI BUY & WATCH HIGH YIELD 2029 - 1 C ※	-	-	その他 ※	0.98%
上位5銘柄合計:					5.60%

※投資信託証券です。

ポートフォリオ概況

平均格付	BB-
平均最終利回り(%)	5.84
平均直接利回り(%)	5.37
修正デュレーション(年)	2.90
組入全銘柄数	265

・平均格付とは、基準日時点でファンドが保有している有価証券の信用格付を加重平均したものであり、ファンドの信用格付ではありません。

組入格付別比率

格付	比率
AAA	-
AA+	-
AA	-
AA-	-
A+	-
A	1.41%
A-	1.16%
BBB+	-
BBB	-
BBB-	1.38%
BB+	21.10%
BB	28.00%

格付	比率
BB-	15.38%
B+	12.28%
B	16.37%
B-	2.69%
CCC+	0.48%
CCC	-
CCC-	-
CC+以下 および無格付	0.28%
現金等	-0.54%
合計	100.00%

・格付はS&P、Moody'sおよびFitchの格付を基準にしております。
・現金等には、投資先ファンドのキャッシュやレポ取引等を含みます。

組入上位5カ国

国	比率
フランス	18.52%
ドイツ	13.82%
スペイン	9.55%
イタリア	9.35%
アメリカ	6.91%

2026年4月30日 現在

分配金概況(1万口当たり、税引前)

投資先ファンドからの受取金(1万口当たり)および分配対象額(1万口当たり、分配金支払い後)

設定来累計	10,761円					
決算日	2025/11/12	2025/12/12	2026/1/13	2026/2/12	2026/3/12	2026/4/13
投資先ファンドからの受取金*	60円	61円	62円	54円	57円	37円
収益分配金	20円	20円	20円	20円	20円	20円
分配対象額(分配金支払い後)	4,418円	4,459円	4,501円	4,536円	4,573円	4,590円

*インカム収益、キャピタル益、元本払戻金等を含む(経費控除後)

*主に主要投資対象であるTCWファンズ-TCWハイ・イールド・ボンド・ファンドとAmundi Funds ユーロ・ハイ・イールド・ボンドより支払われた受取金から経費を控除したものです。受取金には主要投資対象における組入債券のインカム収益に加え、債券や為替のキャピタル益(評価益を含む)、元本払戻金などが含まれます。キャピタル益は必ず獲得できるものではなく、キャピタル損(評価損を含む)が発生する場合があります。

・直近6期分の分配金概況です。・上記は1万口当たり(収益分配金については1万口当たり、税引前)の数値です。

・分配金は過去の実績であり、将来を示唆または保証するものではありません。

・運用状況によっては、分配金額が変わる場合、または分配金が支払われない場合があります。

・分配金額を決定する要因は、分配対象額のみではなく、基準価額の水準、主要投資対象の組入債券の利回りや価格の状況等を鑑みた上で、分配金額は決定されます。

ファンドマネージャーのコメント

TCWファンズ-TCWハイ・イールド・ボンド・ファンド

(TCWインベストメント・マネジメント・カンパニー)

《市場動向》

4月、イラン情勢が引き続き市場の焦点となり、停戦に関する報道が錯綜する中、市場は乱高下を繰り返しました。原油価格は広いレンジで値動きをみせたものの高値圏となり、スタグフレーション(景気が後退していく中で物価上昇が同時進行する現象)への懸念を強めました。米国国債利回りが上昇(債券価格は下落)する中、リスク資産は前月から大きく反発し、株式市場はグローバルに堅調となりました。このような環境下、クレジットスプレッド(国債との利回り格差)は縮小し、米国ハイイールド債市場は上昇する動きとなりました。

《運用状況》

当月、化学や保険銘柄などで利益を確定しました。一方、ボラティリティ(価格変動性)が高まった局面で、より魅力的な水準で自動車関連やテクノロジー銘柄などを新規に組み入れました。また、ミッドストリーム・エネルギー銘柄で入替を行いました。

《今後の見通しと運用方針》(将来の市場環境の変動等により、下記運用方針が変更される場合があります)

最近のAI(人工知能)や地政学的リスクの高まりを受けて、個別銘柄レベルでは動きがみられますが、全体的なクレジットスプレッド水準は過去の水準と比べても引き続きタイトな状況です。バリュエーションがより魅力的になり、引き受けるリスクに見合った利回り水準になるまでは、引き続きディフェンシブなポジションを維持する方針です。当ファンドは、耐性のある業種への配分を重視しており、中でも電力銘柄などについては電力需要の安定的な推移が見込まれ、追い風になると考えています。

Amundi Funds ユーロ・ハイ・イールド・ボンド

(アムンディ・アセットマネジメント)

《市場動向》

欧州ハイイールド債市場は4月に上昇しました。中東での紛争が続く中でも、クレジットスプレッドが縮小し、金利の上昇が小幅にとどまったことが背景にあります。一方で、4月は原油価格の乱高下が市場の注目を集めました。月初にトランプ米大統領が停戦を発表した後、パキスタンのイスラマバードでの米国・イラン間協議を経て原油価格はいったん下落しましたが、月末にかけて再び緊張が高まると価格が再上昇する場面もみられました。こうした動きを受けて、ユーロ圏・米国ともに1年先のインフレ期待が上方修正され、インフレ指標も高止まりました。ユーロ圏では成長が鈍化し、景気指数も再び縮小圏に戻りました。ECB(欧州中央銀行)は政策金利を据え置きましたが、ラガルドECB総裁はエネルギー価格の改善がみられない場合、次回会合で利上げの可能性があることを示唆しました。FRB(米連邦準備理事会)も政策金利を据え置きつつ、より引き締めの姿勢を示しました。企業業績については、第1四半期決算が欧米ともにおおむね良好でした。ただし、エネルギー価格上昇の影響は、輸送、食品、化学、包装、物流など一部業種に出始めており、経営陣のコメントは全体として慎重で、引き続き規律を重視する姿勢が目立ちました。こうした中、クレジットスプレッドは縮小し、より格付の低い銘柄ほど縮小幅が大きくなりました。需給面では、3月の大きな流出の後、4月は再び資金流入に転じました。特にハイブリッド債の発行が目立ち、LBO(レバレッジド・バイアウト)案件の再登場や企業の借り換え発行も増加しました。

《運用状況》

当ファンドの月間パフォーマンスは、おおむね代表的な指数であるICE BofA European Currency High Yield Constrained Index並みとなりました。市場へのエクスポージャーは、おおむね中立近辺を維持しました。

《今後の見通しと運用方針》(将来の市場環境の変動等により、下記運用方針が変更される場合があります)

市場は引き続き、中東情勢の行方と原油価格の動向に影響を受けており、これらはインフレ、景気、金利見通しを左右する重要な要因となっています。景気に左右されやすい資産には一定のリスク・プレミアムを維持すべきだと考えます。当ファンドの中心シナリオは、経済が緩やかに成長するというものであり、スタグフレーションのリスクをもたらすような長期的な紛争の継続ではありません。ハイイールド債の発行体のファンダメンタルズ(基礎的条件)は引き続き堅調です。発行体間の格差が続くとみえていますが、デフォルト(債務不履行)率が大きく上昇する状況にはならないと想定しています。需給などのテクニカル要因も比較的良くでした。当ファンドは厳格な銘柄選別を継続し、市場全体への投資比率は中立に近い水準を維持しています。引き続き、欧州ハイイールド債市場の利回りは相対的に高く、値動きが大きくなるリスクはあるものの、現在の水準は魅力的であると考えます。

ファンドの目的

ファンドは、主として、米国のハイイールド債市場へ投資するファンドと、欧州のハイイールド債市場へ投資するファンドの毎月分配クラスに投資することにより、中長期的な信託財産の成長と安定的な収益確保を図ることを目指して運用を行うことを基本方針とします。

ファンドの特色

- ① 原則として毎月12日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行うことを目指します。
 - ・ ファンドは、投資信託証券に投資した結果得られるインカム・ゲインやキャピタル・ゲインを分配原資とします。
 - ・ 運用状況(基準価額水準および市況動向)等によっては分配を行わないこともあります。
 - ・ 原則として、為替ヘッジを行わないため、分配金は為替相場の変動の影響を受けます。
- ② 米国と欧州のハイイールド債(高利回り債/投機的格付債)に投資します。
 - ・ 米国と欧州のハイイールド債(高利回り債/投機的格付債)に投資することにより、高い利息収益の獲得を目指しつつ、分散投資により信用リスク^{*}の低減に努めます。
 - ※発行体の財務内容の悪化等により、債券の元金や利息等の支払が滞ったり、支払われなくなるリスクをいいます。
- ③ 市場と通貨がペアです。
 - ・ 米国と欧州の2つのハイイールド債市場に投資します。
 - ・ 米ドルとユーロの2つの通貨に分散投資します。
 - * 米ドルとユーロの2つの通貨に分散投資することにより、為替変動リスクを軽減することに努めますが、円独歩高など外国為替相場等の影響により、為替変動リスクが軽減されない場合があります。
- ④ 2つの運用会社が運用を行う、2つのファンドに投資します。
 - ・ TCWインベストメント・マネジメント・カンパニーが運用する「TCWファンズ-TCWハイ・イールド・ボンド・ファンド(XJ シェアクラス)」とアムンディ・アセットマネジメントが運用する「Amundi Funds ユーロ・ハイ・イールド・ボンド」の毎月分配クラスに投資します。組入比率や組入対象の変更は、委託会社の判断により適宜行われます。

◆資金動向および市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。◆

投資リスク

ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、主として外国債券など値動きのある有価証券(外貨建資産には為替変動リスクがあります)に実質的に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、**投資元本が保証されているものではありません**。ファンドの基準価額の下落により、**損失を被り投資元本を割込むことがあります**。ファンドの運用による損益はすべて投資者に帰属します。なお、投資信託は預貯金とは異なります。

基準価額の主な変動要因としては、価格変動リスク、金利変動リスク、為替変動リスク、信用リスク等が挙げられます。なお、基準価額の変動要因(投資リスク)はこれらに限定されるものではありません。また、その他の留意点として、ファンドの繰上償還、ハイイールド債への投資に関する留意点、流動性リスクに関する留意事項等があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

《当資料のお取扱いについてのご注意》

当資料は、「アムンディ・米国・ユーロ高利回り債ファンド」の商品内容説明資料としてアムンディ・ジャパン株式会社が作成した資料です。当資料に記載したコメントは、将来を保証するものではなく、資料作成時点における当社の見解や予想であり、将来の経済・市場環境、政治情勢等の変化により予告なく変更することがあります。当資料に記載したデータは資料作成時点のものであり将来の傾向、数値等を示唆するものではありません。購入のお申込みを行う場合には、販売会社から投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので、必ず商品内容、リスク等の詳細をご確認の上、ご自身のご判断でお申込みください。

《投資信託ご購入時の注意点》

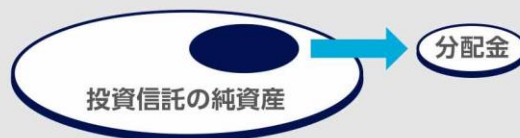
投資信託は、その商品の性格から次の特徴をご理解のうえご購入くださいますようお願い申し上げます。

●投資信託は預金ではなく、預金保険の対象とはなりません。●投資信託は保険契約ではなく、保険契約者保護機構の保護の対象とはなりません。●登録金融機関を通じてご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。●投資信託の設定・運用は委託会社が行います(銀行は販売の窓口となります)。●投資信託は値動きのある証券(外貨建資産には為替変動リスクがあります)に投資するため、運用実績は市場環境等によって変動します。したがって、投資元本および分配金が保証された商品ではありません。●投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客さまが負うこととなります。●投資信託のお申込みに関しては、クーリングオフの適用はありません。

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払されると、その金額相当分、基準価額は下がります。

【投資信託で分配金が支払われるイメージ】



- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

【計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合】

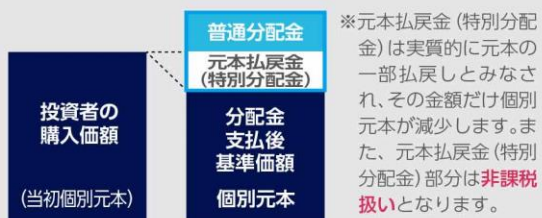


(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

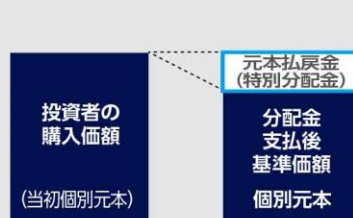
※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金：個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金(特別分配金)：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

お申込みメモ

購入単位	1円または1口を最低単位として販売会社が定める単位とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額とします。
購入代金	販売会社が定める期日までにお支払いください。
換金単位	販売会社が定める単位とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額とします。
換金代金	換金申込受付日から起算して、原則として5営業日目から販売会社においてお支払いします。
購入・換金申込受付不可日	ユーロネクストの休業日ならびにフランスの祝休日、ルクセンブルクの銀行休業日およびニューヨーク証券取引所の休業日あるいはニューヨークの銀行休業日のいずれかに該当する場合には、受け付けません。
申込締切時間	詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金制限	委託会社の判断により、一定の金額を超える換金申込には制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止および取消し	委託会社は、金融商品取引所における取引の停止、決済機能の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情等があるときは、購入・換金の申込受付を中止することおよび購入・換金の申込受付を取消すことができます。
信託期間	無期限とします。(設定日:2004年3月19日)
決算日	年12回決算、原則毎月12日です。休業日の場合は翌営業日とします。
収益分配	年12回。毎決算時に収益分配方針に基づいて分配を行います。販売会社によっては分配金の再投資が可能です。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。 公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合にNISA(少額投資非課税制度)の適用対象となります。ファンドは、NISAの対象ではありません。 配当控除および益金不算入制度は適用されません。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入申込受付日の翌営業日の基準価額に、販売会社が独自に定める料率を乗じて得た金額とします。有価証券届出書作成日現在の料率上限は 3.3%(税抜3.00%) です。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
信託財産留保額	ありません。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬)	実質的な負担の上限:純資産総額に対して 上限年率1.8%(税込)* ※ファンドの信託約款に定める信託報酬上限年率1.1%(税込)に組入投資信託証券のうち信託報酬が最大のもの(年率0.70%)を加算しております。ファンドの実際の投資信託証券の組入状況等によっては、実質的な信託報酬率は変動します。
その他の費用・手数料	その他の費用・手数料として下記の費用等が投資者の負担となり、ファンドから支払われます。 ・有価証券売買時の売買委託手数料および組入資産の保管費用などの諸費用 ・信託事務の処理等に要する諸費用(監査費用等を含みます。) ・信託財産に関する租税 等 ※その他、組入投資信託証券においては、ルクセンブルクの年次税(年率0.01%)などの諸費用がかかります。 ※その他の費用・手数料の合計額は、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することはできません。

◆ファンドの費用の合計額については保有期間等に応じて異なりますので、表示することはできません。

◆ファンドの費用については、有価証券届出書作成日現在の情報であり、今後変更される場合があります。

委託会社、その他の関係法人の概要

委託会社	アムンディ・ジャパン株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第350号 加入協会:一般社団法人資産運用業協会、日本証券業協会、 一般社団法人第二種金融商品取引業協会
受託会社	株式会社 リそな銀行
販売会社	販売会社については巻末をご参照ください。
ファンドに関する照会先	委託会社の名称:アムンディ・ジャパン株式会社 お客様サポートライン:050-4561-2500 受付は委託会社の営業日の午前9時から午後5時まで ホームページアドレス: https://www.amundi.co.jp/

販売会社一覧(業態別・五十音順)

金融商品取引業者等		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人資産運用業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社 関西みらい銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第7号	○		○	
株式会社 埼玉りそな銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第593号	○		○	
株式会社 りそな銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第3号	○	○	○	